

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和4年11月15日(火)午後7時～9時
場 所 武蔵野分館（武蔵野町会）
参加者 48人



主な意見等

- 参加者 前回のタウンミーティングでもお話ししましたが、この地域には砂利道が多くあります。市役所へ道路の舗装を依頼したところ、一部の道幅が3メートルしかないため舗装できないと言われました。以前より住宅や子どもが増え、状況が変わっています。砂利の道は通学路にもなっているので、舗装をお願いします。公道に認定されています。
- 市 長 道路の幅員を4メートルは最低確保するという規則があり、このエリアは路面材で舗装する対応をしています。
- 参加者 路面材の舗装では、車のタイヤの影響ですぐに穴が開いてしまいます。
- 市 長 通学路になっているとのことなので、持ち帰って状況を確認します。
- 参加者 道路の舗装ができる道幅4メートルの基準は、国の基準なのか市の基準かを市役所に確認したところ、市の基準であるとのことでした。実際に、過去、道幅が3メートルでも舗装された道路があります。舗装できないのであれば砂利の種類を変えてほしいと依頼しましたが、市で使用する砂利が決まっているということで変えていただけませんで

した。砂利を変えれば状況も変わるかもしれないので、検討してほしいです。

市長 慎重な判断が必要になるため、持ち帰らせていただきたいです。市内には他にも住宅が多い地域であっても舗装できていない道路がたくさんあり、地域の方がやむなくお金を出し合って道路の舗装を行ったこともあります。しかし、ご指摘の道路は距離が長いので、それが難しいというのは理解できますので、持ち帰って担当者と打ち合せ、検討させていただきたいと思います。

参加者 市の公園の管理が不十分だと感じます。市民憩の森はいつも休園していますし、亀久保中央公園には水遊び広場があるのに水が入っていません。雑草が生えているので、芝生を入れ、通路と芝生を木で分けて、子どもたちが遊べるようにしてほしいです。また、大井弁天の森の、山へ登っていく階段の柵には「寄りかかると倒れるので寄りかからないでください」と書かれていて、みっともないと感じます。東屋があるのですが、森の中でうっそうとしていて暗く、使っている人を見たことがありません。
子育て世帯にやさしい市をテーマにしているのであれば、市の公園を全体的に見直していただきたいです。

市長 公園についてのご意見はご指摘の通りだと思います。市民憩の森については、ナラ枯れといい、害虫被害により倒木の恐れがあり休園にしています。原因となる害虫の繁殖が酷いため、気温が下がって害虫が活動しなくなる冬に、被害に遭った樹木を伐採し、安全を確保した状態で使用できるようにしたいと思っています。
亀久保中央公園の水遊び広場は、新型コロナウイルスの流行によって稼働しない方針をとっていました。市内には他にも流水施設のある公園があるのですが、心無い人によって異物を投げ込まれ、それによって使用できないということもありました。
大井弁天の森は、もともとは愛護会の皆さんが整備してくださっていたのですが、継承者がおらず愛護会が解散になってしまいました。大井弁天の森は民地で、市であまり手を入れることができませんでしたが、それを改善するために現在は大井弁天の森を特別緑地保全地区に

指定し、順次土地を購入しているところです。

公園の雑草については、以前よりも除草の頻度が減ってしまっているのも事実です。理由は、社会保障関連の費用が増えており、その費用を捻出する必要があるからです。介護保険給付には1年間で70～80億円、国保と後期の医療費も10年前に比べて約1.5倍に増えています。そのため、昔に比べて草刈や道路の舗装などに使えるお金が減り、更に資材高騰により対応できる件数が減っています。市内の公園は小さいものも含めて163カ所ありますので、順次、ご要望に近づけられるよう考えてまいります。

参加者 健康寿命を延ばすため、公園に健康遊具を導入してください。何か所かでいいのでお願いします。

市長 ふじみ野市では、平成18年に大井プール事故がおこってしまいました。それ以来、日本一安全な市を目指して安全点検週間を設けており、公共施設の安全点検を行っています。

公園の遊具などを点検すると、老朽化して危ないものが多く、修繕や撤去を行いました。新しい器具の設置については、地域の要望にあったものをなるべく入れるようにしています。健康づくりや介護予防に結び付くのであれば、設置費用以上の費用抑制効果があるので、健康遊具を導入するという考えは素晴らしいと思います。この地域に限らず、健康づくりにつながる遊具の設置を検討していきたいと思います。

参加者 大井浄水場付近の道路の歩道部分に、関越自動車道から草が伸びていて危険な箇所があります。6月頃、市役所に対応を依頼したところ、1カ月くらい経ってから「NEXCO 東日本と話し合いをして解決したい」と連絡ありました。しかし、その後特に進展がありません。安全に歩行できるようにしてほしいです。

市長 早急に状況を確認します。

参加者 学校にある樹木を定期的に樹木医に見てもらい、危険なものを伐採する計画はないのでしょうか。先日、鹿児島県で校庭の木の枝が折れて落下し、校長先生が下敷きになり亡くなる事故がありました。事故が

起こってからでは遅いので、市で予算を取って対応していただきたいです。西原小学校では、ことし、既に2回も枝が落ちています。枝を切る手配をしていただいています。できれば年に1回でも点検していただき、折れそうな枝をあらかじめ切っていただくと安心です。

市 長 危険性のある木については、外見から分かるものとそうでないものがあります。公共施設のすべての木を樹木医に診断してもらうことは難しいですが、樹木医でなくとも確認できることもあります。予算を付けるのは難しいですが、既に危険な箇所については教育委員会と調整したいと思います。

参加者 スポーツセンターから北に向かう道路があり、西側の畑に雨水が流れ込んでしまうところがあります。以前、市役所にお問い合わせしたのですが進展がありません。もう一度見て対応を検討していただきたいです。

市 長 現場を確認したところ、道路の方が高く畑が低い地形のため、どうしても水が流れ込んでしまいます。道路から水が入らないように塞ぐことが難しく、手の打ちようがない状態になっています。この件については、どういう対応ができるか現状を見ながら検討させていただきたいと思います。

参加者 訪ね人の放送は、その後の結果も放送してほしいです。

市 長 防災行政無線は、なるべく使用頻度を少なくしなければなりません。頻繁に放送すると聞く人が慣れてしまい、事件が起こった際などの緊急時に放送を聞いてもらえない恐れがあるためです。同じ放送が何度も無ければ、解決したと思って安心していただければと思います。ご心配いただきありがとうございます。

参加者 ふじみん号で、大井総合支所から市役所本庁舎へ直接行く便を増やしてください。

市 長 今、ふじみん号のコースの見直しを行っております。迂回するコースではありますが、令和5年度より大井総合支所から市役所本庁舎に乗

り継ぎなく行ける便を追加することが決まっています。

参加者 自宅の浄化槽が古くなり入れ替えが必要ですが、費用がとても高いです。市役所へ下水道の本管が通る予定が無いか問い合わせましたが、答えがいただけません。浄化槽を入れた後に本管が通ると、費用が無駄になってしまいます。下水道の本管が通る予定はないのでしょうか。

市 長 合併前の上福岡市・大井町の時代から、市内全域に下水道を整備する計画が立てられていましたが、時期については明記されていませんでした。そのため、市街化調整区域の方に公共下水道を引くべきか浄化槽のままがよいかのアンケートをとったところ、公共下水道を整備してほしいという意見が75%でした。そのため、ことしから市街化調整区域の下水道整備を進めているところです。現在、大字大井、苗間、駒林、川崎で着工しています。しかし、公共下水道を望まれている地域が多く、かなりの費用が掛かります。順次進めていきますので、大井武蔵野地区はもう少し待ついただければと思います。

参加者 公共下水道が通るのであれば、浄化槽を入れ替えると費用が無駄になってしまいます。どうしたらいいのでしょうか。

市 長 公共下水道は数年で整備できるものではないので、なるべく安く対応できる業者を探していただくのが良いと思います。浄化槽設置のための受益者負担をなるべく軽減させる手立てを取っており、市街化区域と市街化調整区域の負担のバランスをとりながら対応する必要があります。私が市長になった際、浄化槽から出る水を流す雑排水管も入っていない地域があり、その地域に管を入れる対応を行ってきました。市街化調整区域に公共下水道を整備するためには莫大な費用がかかりますが、責任をもって進めていきたいと思っています。

参加者 学校の浄化槽はどのように対応するのでしょうか。

市 長 学校についても対応してまいります。三角小学校は、生徒数が減少し、浄化槽が大きすぎたので、大規模改修の際に人数に合わせた小さなものに変更しました。

参加者 高齢化した親を抱えている方やひとり親家庭、一人暮らしの方が多いため、そうした方たちが一人で悩まないような支援をしていただきたいです。

市 長 市でも極力、一人で悩まないようにお伝えしております。お困りの方がいらっしゃいましたら、市役所にご一報いただければと思います。市としてどういう手立てで支援するのが望ましいのか判断した上で、さまざまなご相談に応じたり、市役所からご連絡したり、手を差し伸べていくのが務めだと考えております。

参加者 介護している人はバス停まで歩くのが大変です。この近くにもバス停を作っていただきたいです。

市 長 バス停を作るには公共交通機関の間で調整を図らなければならないため難しいです。バス停までの移動が難しい場合は、おでかけサポートタクシーという制度をご利用いただければと思います。制度の詳細については、市のホームページを確認していただくか、高齢福祉課にご連絡をいただければと思います。

参加者 通学路に危険な箇所が何カ所かあります。原分館周辺の細い道を抜け道に利用している車があり、ちょうど通学時間帯にスピードを出して入ってきます。また、横断歩道が消えかかっている箇所があり、子どもたちが渡ろうとしているときに車が止まらずに走り去っていくところを何度か目撃しています。通学時間帯だけでも車が通らないようにできないでしょうか。

市 長 消えかかっている横断歩道も含めて、場所を改めて確認させていただきます。

参加者 八軒屋の交差点について、何度もポールが倒されており、車が勢いよく曲がってくるため危険だと感じています。

市 長 八軒屋の交差点については私も危険な場所だと感じています。三芳町

のスマートインターがフルインター化されるということで、さらに交通量が増えることが想定されます。県や三芳町とも調整して、交差点改良を進めているところです。

参加者 西原小学校の外トイレが使えないくらい臭くて汚いため何とかしてほしいです。

市長 学校の外トイレについては、各所で話が出ています。学校の改修について、まずは平成24年に小・中学校の耐震工事を行いました。その後、学校の老朽化に合わせて順次大規模改修工事や教室の空調工事、体育館の空調工事を行いました。外トイレは優先順位が低く最後になってしまいましたが、来年度から順次、改修を行ってまいります。

参加者 外トイレは、清掃もあまりされていないように感じます。

市長 学校によっては、主に外トイレを利用するクラブチームの方に清掃を行ってもらっているところもあります。本来、授業では外トイレは使わないのが原則であり、使用する方たちが掃除するのが基本だとは思いますが、それぞれのルールがあるのだと思います。
校庭の草むしりも、保護者が手伝っています。昔に比べて子どもの数が減っているのも、子どもたちだけでは対応できないためです。他にも学校開放で校庭を使っている方や、消防団員などにも協力してもらい、子どもたちといっしょに草むしりをすれば、地域の皆さんとの交流の機会が増えるのではないかと思います。外トイレの掃除も同じだと思いますので、そういうことに効果があるのであれば、外トイレの改修についても力を入れていかなければならないと思っています。

参加者 大井西中学校の東門について、南側は数年前に歩道を付けていただきましたが、北側にも歩道を付けていただきたいです。

市長 すぐに対応するのは難しいですが、ご要望として承ります。

参加者 総合体育館について、試合のために大勢の児童が自転車で来ているので安全対策をお願いしたいです。

市長 ご要望として承ります。

参加者 武蔵野分館は、地区対策拠点になっています。防災訓練で避難してきた人にここは耐震になっているのかと質問されたのですが、いかがでしょうか。

市長 武蔵野分館の建物について耐震化はされていませんが、簡単につぶれる建物ではないと考えています。この建物内にいるときに大地震が起こった場合は、危ないので建物の外に出た方がいいと思います。万が一大地震が起きたときに、自宅に住んでいられない状況となった方は、学校の施設で凌いでいただく形になります。しかし、全員が入れるわけではありません。自宅で暮らせる方は、避難場所で救援物資を受け取っていただき、自宅で暮らしていただくことになります。武蔵野分館も、状況に応じて大丈夫そうであれば使っていただければと思います。地震が起きたらまずは身の安全を確保し、そして、地域の方で集結して指示を出し合ってください、避難場所へ移動していただきたいです。地域の力が強い方が災害からの復興が早いと言われています。みんなで地域を守っていける大井武蔵野地区であってほしいと願っています。

タウンミーティング後に追加された意見

参加者 立てこもり事件の際、大井西中で避難所を開設しましたが、こうした事件や災害が発生した際、どのように市から自治組織へ連絡がいくのでしょうか。

(担当課) ふじみ野市犯罪情報の住民提供等に関する協定に基づき、F メールや防災行政無線などにより周知を図るほか、事案によっては、自治組織の会長あてにご連絡をさせていただきます。
また、災害時においても上記手段に加え、エリアメールや公式 SNS、及びホームページなどの情報発信可能なあらゆる手段を用いて情報の発信を実施します。

参加者 総合防災訓練に武蔵野町会も参加しました。全市民が参加できる本市の防災訓練は、素晴らしい取り組みだと思います。しかし、訓練に参加しても全体像が見えず、場当たりの訓練を行った印象でした。せっかく市内全域で一斉に防災訓練を実施するのですから、参加者にもっと全体像が伝わるような訓練を行っていただけないでしょうか。例えば、災害対策本部と各避難所がリアルタイムで連携し、各避難所にも市内の状況（インフラや傷病者の状況など）タイムラインなどを掲示・更新するなどしてほしいです。市が具体的にどのような取り組みをされているかが伝わるような訓練をお願いします。

(担当課) 現在、総合防災訓練の実施事業として、各避難所へ市内の状況（インフラや傷病者の状況など）をメールで発信しているところです。ただし、各避難所における実施事業は、指定職員（市の職員）や学校職員、自治組織の方で話し合いを行い決定しているため、避難所毎に異なっております。また、毎年訓練実施後に、自治組織の方からいただいたご意見を基に、各避難所での事業に反映しております。そのため、今回のご意見についても指定職員へ共有するとともに、今後とも地域から意見をいただければと思います。

参加者 市ホームページ内に、自治組織で運営しているWEBサイトやSNSへのリンクが4つ掲載されています。WEBサイトを活用すれば、若い方へのPRになるので、武蔵野町会でも開設したいと思っています。市で講習会などを開催してもらえないでしょうか。

(担当課) 令和元年度から市ホームページに各自治組織のWEBサイト等のリンク付けをしており、自治組織への加入に関心を寄せる方が当該団体の活動を知っていただく機会にもなり、加入促進の効果が高まるものと期待しております。今後この取り組みをより多くの自治組織に活用していただけるようにするため、HP開設やSNS活用方法の講座を検討してまいります。